

おわりに

これから先を見渡しますと、グローバリゼーションはさらに進むでしょう。国際的な競争はさらに激しくなるでしょう。日本はこうした動きに遅れないよう、技術、知識、企業活動などでは世界の先端を走っていかなければなりません。そのための政策努力は当然、必要です。しかし、輸送網とインターネットの発達によってビジネスだけでなく技術開発なども大都市だけでなく、地方でも出来る時代になっています。

他方、人々が安定して豊かな生活を楽しむためには、これまで述べてきましたように少しローカルでナチュラルな空間、即ち地方を必要とします。

この二つのバランスをうまくとっていくことが、今の日本にとって最も必要なことです。

日本では、大都市化が進み過ぎているのが現状ですから、このバランスをとるためには当面、大都市から地方への分散（deconcentration）が必要です。

そしてそのための政策、つまり地方をもう少し大事にする政策が国レベルで取られることが必要だというのが私の考えです。

そのための具体的な方策については、私も参加した11県の知事による「ふるさと知事ネットワーク」が作成して、平成22年5月20日に公表した「政策提言」（本書「付録」P51～64）を参考にして下さい。

「第四章へ」

「コラムへ」